

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)(案)

資料2

協議会名: 宇土市地域公共交通会議

提出日

令和5年1月 日

協議会開催日

令和5年1月16日

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持)

※評価項目の説明※

④事業実施の適切性

- A: 事業が計画に位置づけられたとおり, 適切に実施された
- B: 事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった
- C: 事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった

⑤目標・効果達成状況

- A: 事業が計画に位置付けられた目標を達成した(する見込み)
- B: 事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった(一部達成できない見込み)
- C: 事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった(達成できない見込み)

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
(有)中川タクシー	ミニバス網津緑川線の運行	新型コロナウイルス感染症対応として, 車内の換気や消毒等を行い, 清潔な車内環境づくりに努めた。 R4年2月に作成した宇土市地域公共交通マップを全戸配布し, 利用促進を行った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり, 適切に実施された。	C (目標:1日当たりの利用者数)15.2人 実績:11.6人(達成率76%)※目標未達成 ※新型コロナウイルス感染症の影響による利用者数の減少	本系統はコロナ禍で利用者数が低迷している中においても他の路線と比較すると利用者が増加傾向にある。そのため, 地域公共交通計画との整合性を図りながら, 広報紙やSNS等を活用し, 積極的な利用啓発に努めていく。
(有)西田タクシー	ミニバス宇土北部線の運行	新型コロナウイルス感染症対応として, 車内の換気や消毒等を行い, 清潔な車内環境づくりに努めた。 R4年2月に作成した宇土市地域公共交通マップを全戸配布し, 利用促進を行った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり, 適切に実施された。	C (目標:1日当たりの利用者数)10.7人 実績:8.4人(達成率79%)※目標未達成 ※新型コロナウイルス感染症の影響による利用者数の減少	本系統はコロナ禍で利用者数が低迷している中において利用者が減少傾向にある。運行エリアが広く, ルートによっては需要の掘り起こしが可能と思われるため, 住民ニーズを把握し, 利便性向上に努める。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
宇城タクシー(有)	ミニバス轟線の運行	新型コロナウイルス感染症 対応として、車内の換気や 消毒等を行い、清潔な車内 環境づくりに努めた。 R4年2月に作成した宇土市 地域公共交通マップを全戸 配布し、利用促進を行った。	A 事業が計画に位置づけ られたとおり、適切に実 施された。	C (目標:1日当たりの利用 者数)7.8人 実績:2.8人(達成率 36%)※目標未達成 ※新型コロナウイルス感 染症の影響による利用 者数の減少	本系統は運行エリアが市街 地に近く需要の掘り起こ しが難しい系統である。 そのため、地域公共交通計 画との整合性を図りながら、 様々な輸送資源を活用した 交通体系を検討していく。
宇城タクシー(有)	ミニバス花園北部線の運行	新型コロナウイルス感染症 対応として、車内の換気や 消毒等を行い、清潔な車内 環境づくりに努めた。 R4年2月に作成した宇土市 地域公共交通マップを全戸 配布し、利用促進を行った。	A 事業が計画に位置づけ られたとおり、適切に実 施された。	C (目標:1日当たりの利用 者数)13.6人 実績:8.8人(達成率 65%)※目標未達成 ※新型コロナウイルス感 染症の影響による利用 者数の減少	本系統は運行エリアが広く、 ルートによっては需要の掘 り起こしが可能と思われる ため、地域公共交通計画と の整合性を図りながら、住 民ニーズの把握と、利便性 向上に努める。
宇城タクシー(有)	ミニバス花園南部線の運行	新型コロナウイルス感染症 対応として、車内の換気や 消毒等を行い、清潔な車内 環境づくりに努めた。 R4年2月に作成した宇土市 地域公共交通マップを全戸 配布し、利用促進を行った。	A 事業が計画に位置づけ られたとおり、適切に実 施された。	B (目標:1日当たりの利用 者数)7.0人 実績:6.2人(達成率 89%)※目標未達成 ※新型コロナウイルス感 染症の影響による利用 者数の減少	本系統は運行エリアが広く、 ルートによっては需要の掘 り起こしが可能と思われる ため、地域公共交通計画と の整合性を図りながら、住 民ニーズの把握と、利便性 向上に努める。
産交バス(株)	コミュニティバスの運行	新型コロナウイルス感染症 対応として、車内の換気や 消毒等を行い、清潔な車内 環境づくりに努めた。 R4年2月に作成した宇土市 地域公共交通マップを全戸 配布し、利用促進を行った。	A 事業が計画に位置づけ られたとおり、適切に実 施された。	B (目標:1日当たりの利用 者数)32.0人 実績:28.1人(達成率 88%)※目標未達成 ※新型コロナウイルス感 染症の影響による利用 者数の減少	本系統は市街地を循環する 系統であり、市街地の拠点 間の移動を目的としている ため、路線バスやJR、ミニ バス等の他の交通機関との 接続性の向上を検討してい く。 また潜在的な利用者が多い ことから、広報紙やSNS等 を活用し、積極的な利用啓 発に努めていく。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
(有)中川タクシー	デマンドバスの運行	新型コロナウイルス感染症対応として、車内の換気や消毒等を行い、清潔な車内環境づくりに努めた。 R4年2月に作成した宇土市地域公共交通マップを全戸配布し、利用促進を行った。	C 実績運行回数は513回で、当初想定していた運行回数(1248回)を大幅に下回る結果となった。	C (目標:1日当たりの利用者数)4.5人 実績:3.4人(達成率76%)※目標未達成 ※新型コロナウイルス感染症の影響による利用者数の減少	令和3年10月から本格的に運行を開始し、運行開始当初から比較すると徐々に利用者が増加している。 利用者が固定化しつつあるため、新規の利用登録者獲得に向けた啓発活動を進めながら、利用していない登録者への利用促進と併せて、指定乗降場所の追加など、住民ニーズに基づいた改善に努める。